

# 平成28年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第11回 9月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (藤田)  
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

## ○カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は前年及び平年より少なかった。

前年	平成27年9月1日	(7点の平均)	4.6 個/m <sup>3</sup>
前回	平成28年8月17日	(17点の平均)	7.0 個/m <sup>3</sup>
今回	平成28年9月1日	(7点の平均)	1.1 個/m <sup>3</sup>
※9月上旬の平年値			10.3 個/m <sup>3</sup>

## ○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚が前年より多く、平年と同程度出現した。

前年	平成27年9月1日	(7点の平均)	0.7 尾/m <sup>3</sup>
前回	平成28年8月17日	(17点の平均)	2.3 尾/m <sup>3</sup>
今回	平成28年9月1日	(7点の平均)	3.8 尾/m <sup>3</sup>
※9月上旬の平年値			2.6 尾/m <sup>3</sup>

## ○プランクトン調査

珪藻類が非常に多く発生しており、全ての定点で優占した。  
カタクチイワシの餌となるカイアシ類量は前年及び平年より多かった。

## ○クラゲ調査

昨年と同様、クラゲの出現量は全般的に少なかった。

今年度の卵稚仔調査はこれで終了です。

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2016/9/1)



●の上側がカタクチイワシ卵数/m<sup>3</sup>を、  
 下側がカタクチイワシ稚仔数/m<sup>3</sup>を、  
 右側がカイアシ類量(ml/m<sup>3</sup>)を示す。  
 ※カイアシ類量は、プランクトン採集量  
 (0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

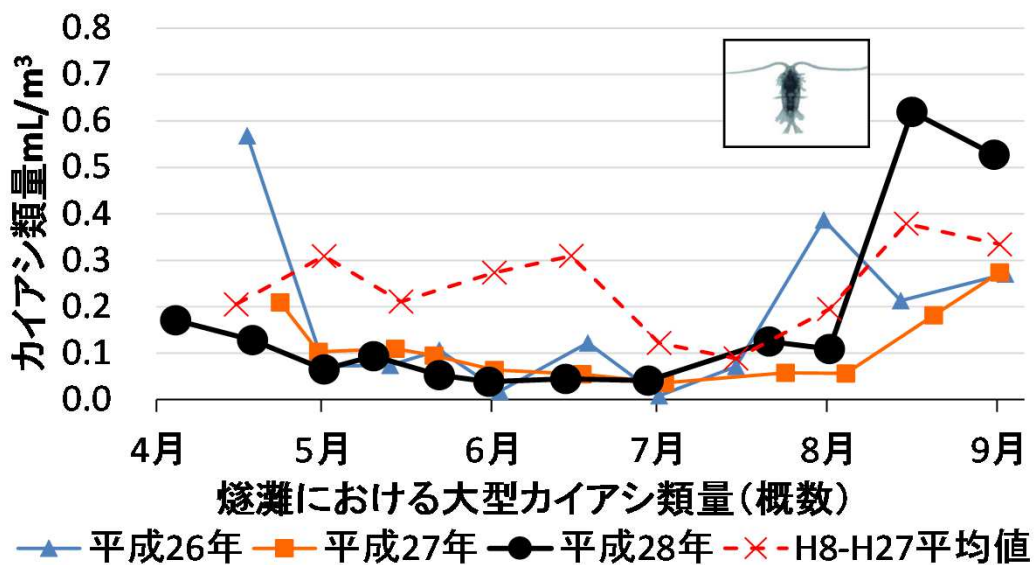
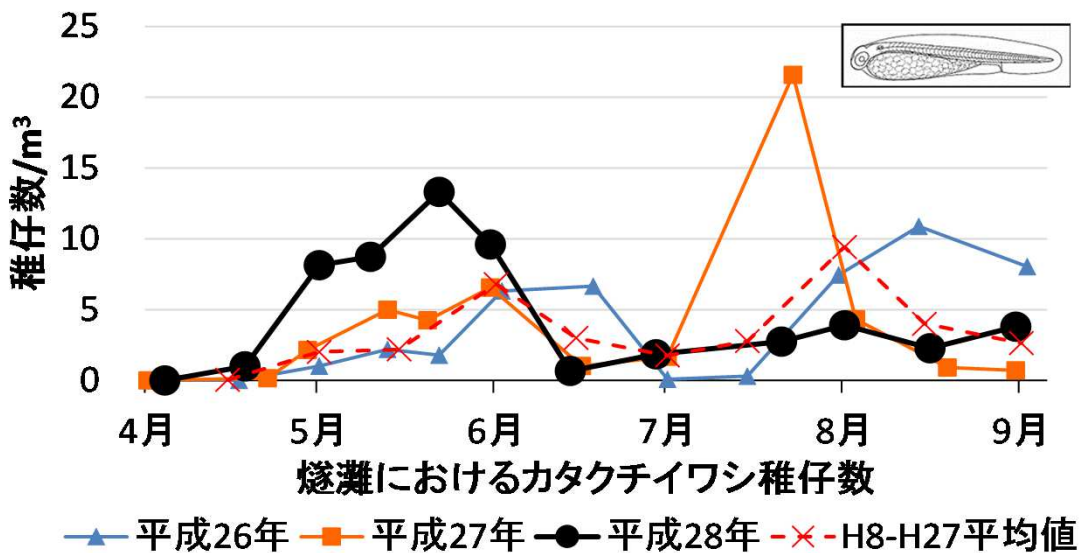
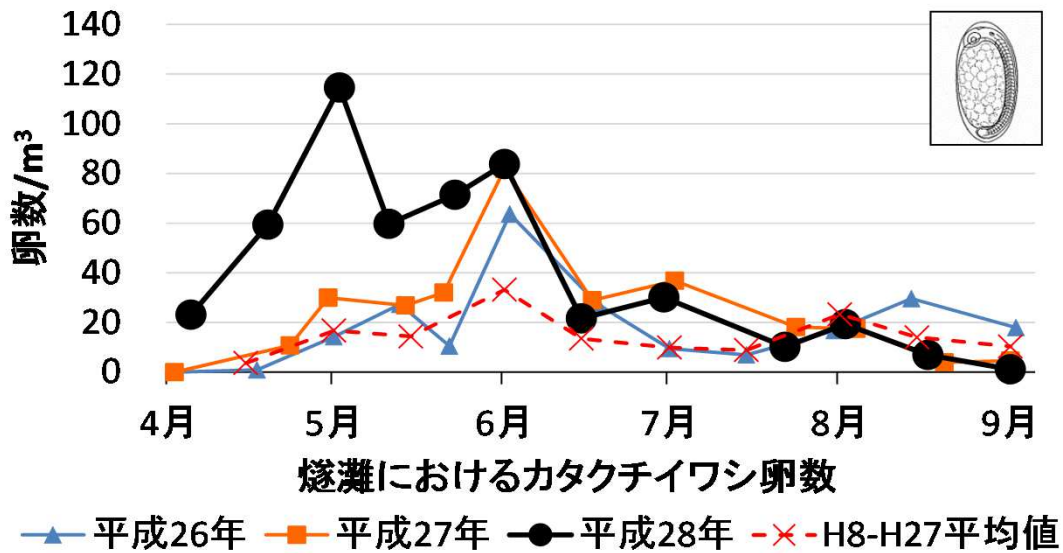
21 ← 卵数  
 凡例 ● 0.6 ← カイアシ類量  
 5 ← 稚仔数

平成28年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(11回目)

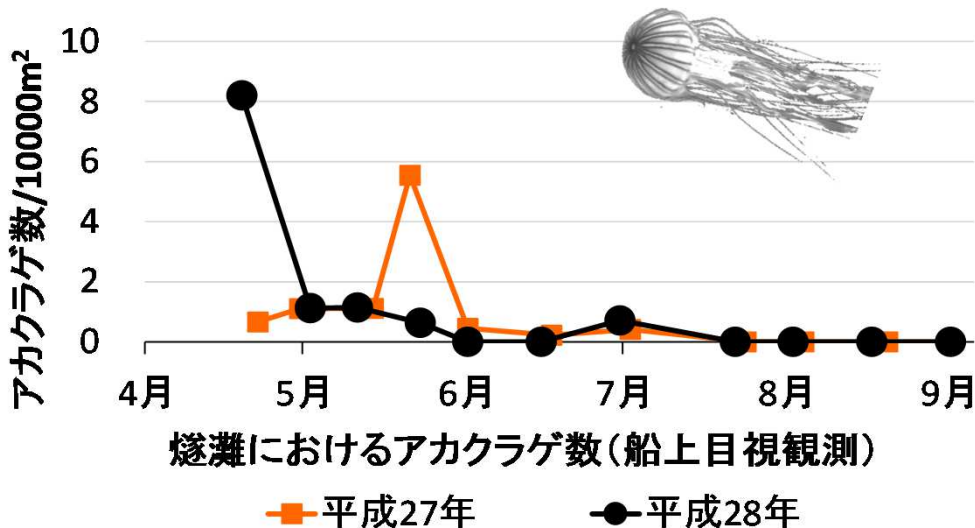
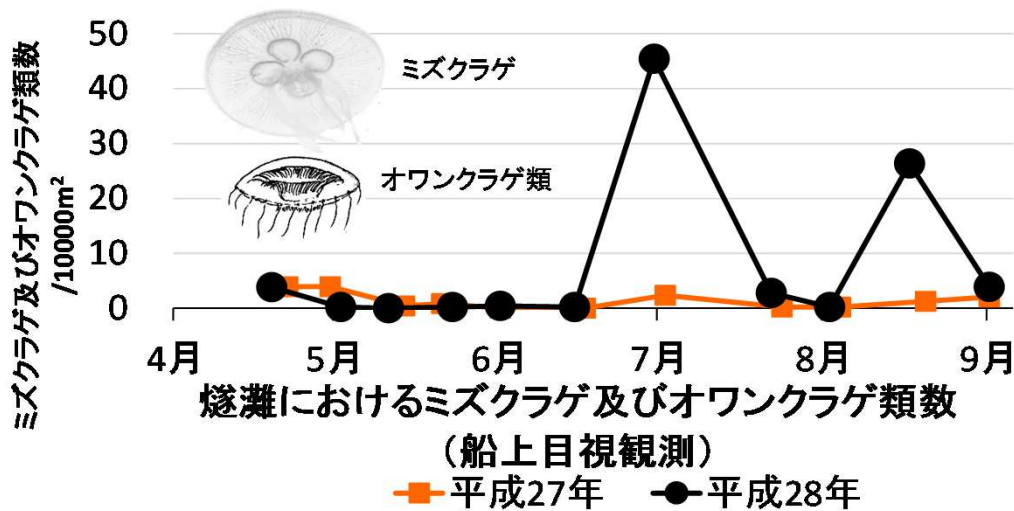
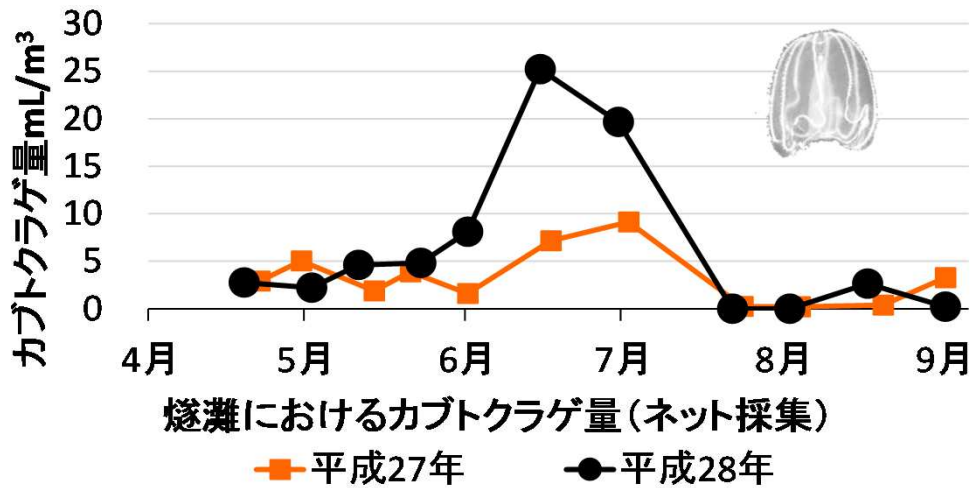
調査日: 2016/9/1

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ稚仔	マイワシ稚仔	その他稚仔
H1	20	26.6	8	0	2	5	0	4
H2	20	26.6	0	0	2	2	0	4
H3	20	26.7	0	0	0	6	0	1
H4	20	26.9	0	0	1	5	0	4
H5	20	26.9	0	0	1	3	0	6
H6	20	26.7	0	0	0	1	0	4
H7	20	26.7	0	0	0	4	0	2
平均		26.7	1	0	1	4	0	4

※採集数はm<sup>3</sup>当たりの数



※カイアシ類量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。



※カブトクラゲは丸特Bネットによる全定点の平均採集量。ミズクラゲ、アカクラゲはH1～H7の7点における平均船上目視観測数(船速平均約7ノットで3分間航走する間に、船側両舷5mの範囲で視認できるクラゲの数)。クラゲ発生量の目安としてご参照ください。

※この報告の情報により不利益等が発生した場合において水産試験場は何ら責任は負いません。